

北海道地域のケーススタディと通史



和人が北海道にはいる以前からのアプローチ

- 小杉 康 「北海道に里山は存在したのか

－北海道における後氷期の海浜型集落立地の出現と展開

キーワード: 後氷期、海浜型集落、里山、人類遺跡

要旨: 人類が寒冷地適応と海浜適応を遂げながら、やがて日本列島にたどり着き、住み着いてから今日にいたるまでの、北海道における人類遺跡の立地の変遷過程を通して問い直してみる。「里山」とは何で、そして北海道にも里山は存在したのかを考える。

- 右代啓視 「北方域でのエゾアワビの利用と古環境」

キーワード: 先史時代、古環境、エゾアワビ

要旨: 北方の先史時代(縄文～中世まで)の人たちは、海洋資源をどのように利用してきたか貝塚から出土する貝遺骸の検討を基に過去の環境変化を復元し、海洋資源の賢明な利用はあったのかどうかを明らかにする。

特に、北方域でのエゾアワビの出現はいつか？その漁あるいは漁期はどうであったか？

- 児島恭子 「自然と一体で生きるということ」

キーワード: アイヌ、伝統的知識、伝承

要旨: アイヌ文化の思想が人間を自然と対置しないことは先住民族の自然観として一般的に知られている。アイヌのそのようないわゆる伝統的な環境思想、環境知識の根底にあるのは、人間の持続可能な生存(子孫を永続させる)という目的と、それを直接的に不可能にする食糧の枯渇への恐怖である。さまざまな伝承からそれらを明らかにし、北海道における人間と自然の史的相互関係の一角として位置づける。

和人が北海道にはいつてからのアプローチ

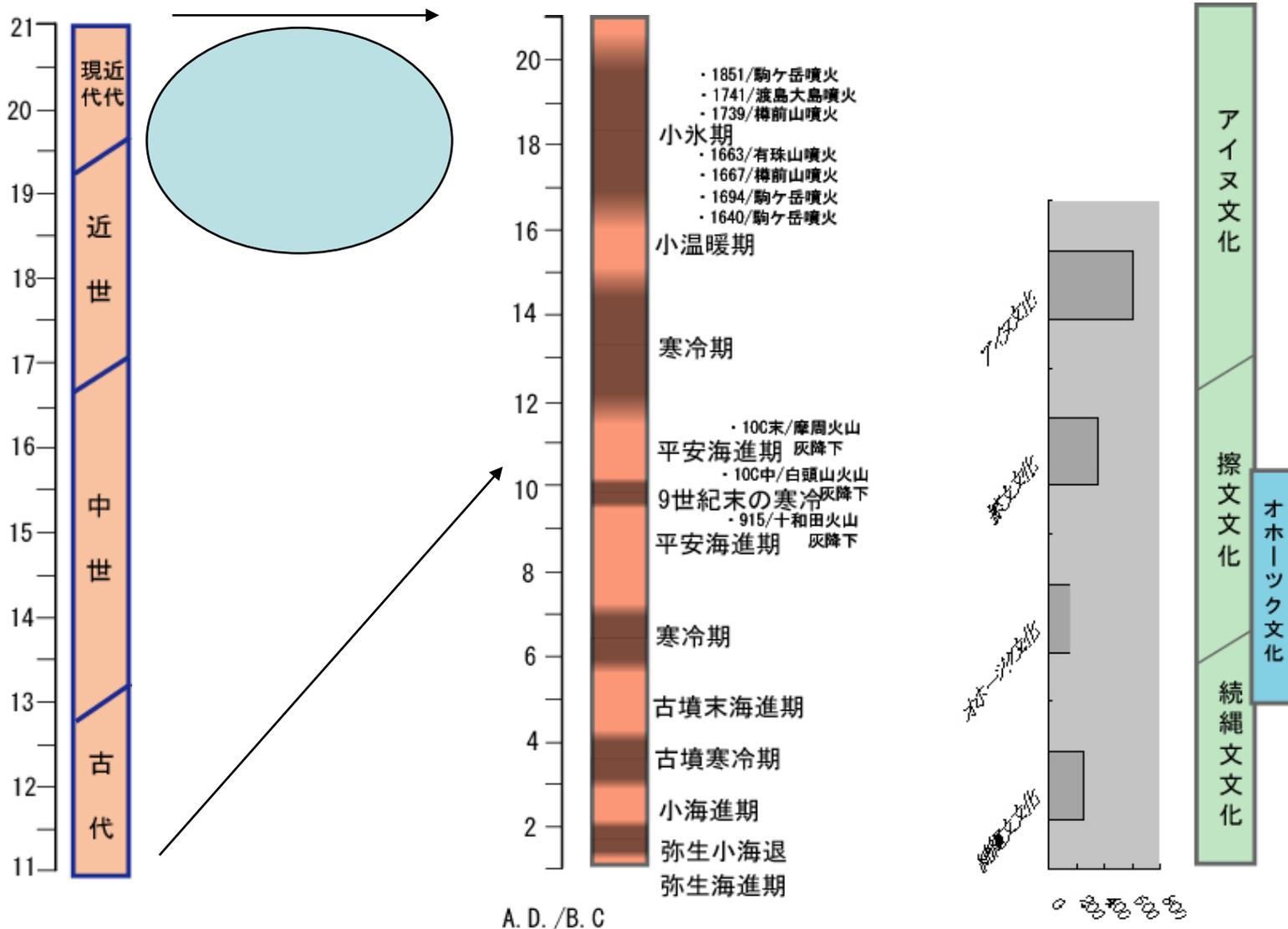
- 田島佳也「北の水産資源・森林資源の利用と認識」
キーワード:水産資源、森林資源、資源認識
要旨:近世後期から近代までに、漁業経営者も含めた漁民たちが生業優先に鯿をはじめとする水産物を獲り、その加工のためにいかに近隣村の山々から薪炭などの森林資源を濫伐し、利用してきたかを跡付け、水産資源・森林資源に向き合う北海道西海岸の漁民たちの利用と姿勢の実態を明らかにする。
- 中野 泰「スケトウダラ漁に生きる漁師達の知恵と工夫—積丹半島以南の比較を通して—」
キーワード:水産資源 共同体規制 賢明な利用
要旨:北海道西南漁村における漁場利用を対象に、資源減少に対する漁業組織の地域ごとの対応を取り上げ、「資源管理」という思想や技術が、いかに漁民の生活レベルから形成され、禁漁区の設定などの工夫に至るのかを明らかにする。
- 麓 慎一「北海道で魚をふやす二つの方法—人口孵化と魚付林—」
キーワード:鮭、種川制度、魚付林
要旨: ①人口孵化の導入を種川制度や伊藤一隆の動向を含めて説明
②魚付林の北海道での試み ③森林法による魚付林の設定
- 三浦泰之「北海道の開拓と森林伐採—明治30年代の後志地方を中心に—」
キーワード:北海道開拓、森林伐採、木材利用
要旨:明治30年頃に北海道庁殖民部が作成した『北海道殖民状況報文 後志国』を主な史料として、明治30年代前後の後志地方における、①森林の状況、②生業と森林の関わり、③薪炭・材木の流通状況、について具体的に記述する。

北海道環境史年表の検討

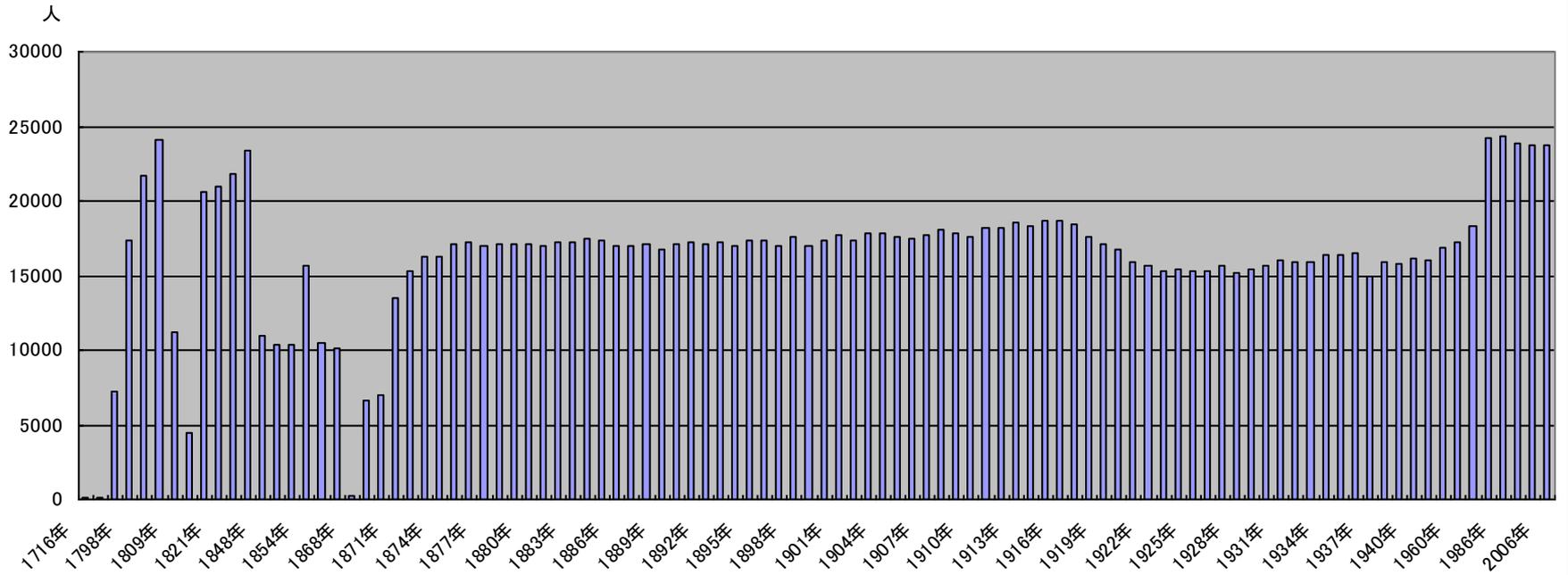
- **北海道スケール**: 古環境と先史文化
Key words: 気候変動、火山噴火、遺跡の変動、先史文化の変遷、アイヌ文化の成立過程
- **テーマ・スケール**: 蝦夷地から北海道
Key words: ニシン漁、タラ漁、サケ・マス人工孵化、森林伐採、魚付林
- **資源利用史**: 北海道史の特殊性
Key words: アイヌ民族史、松前藩、開拓使、地方行政の成立、地下資源利用(特に石炭)

■ テーマ・スケール

■ 北海道スケール

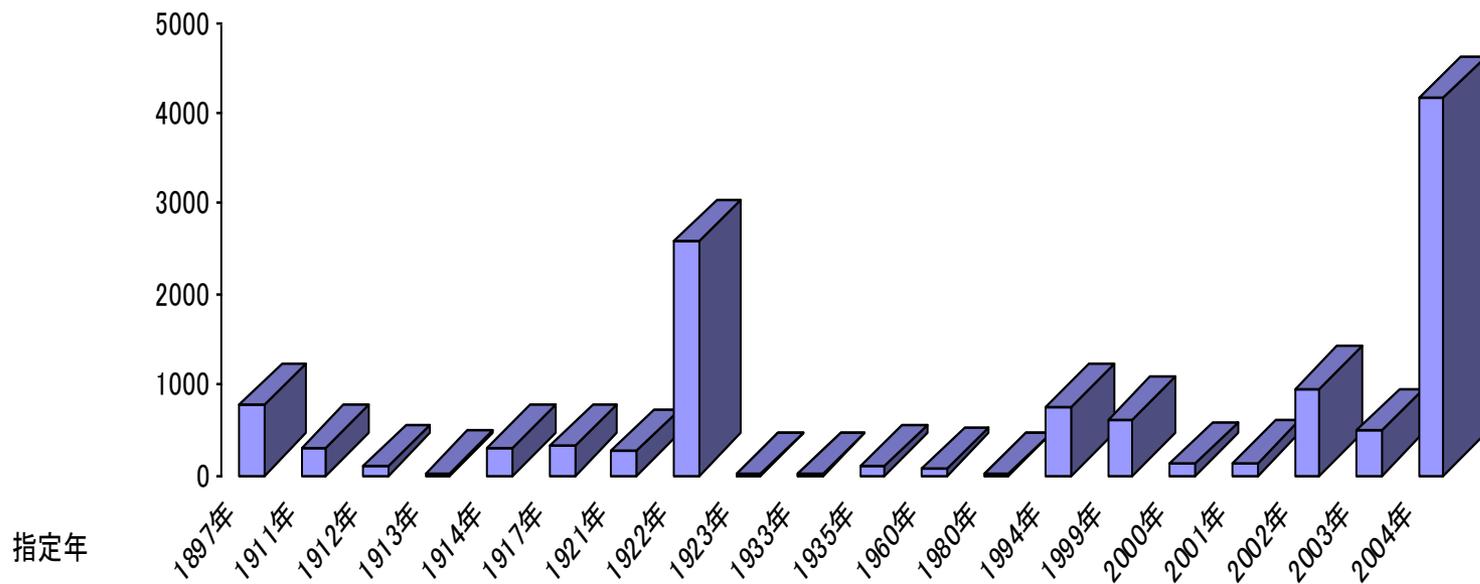


アイヌ民族の人口推移

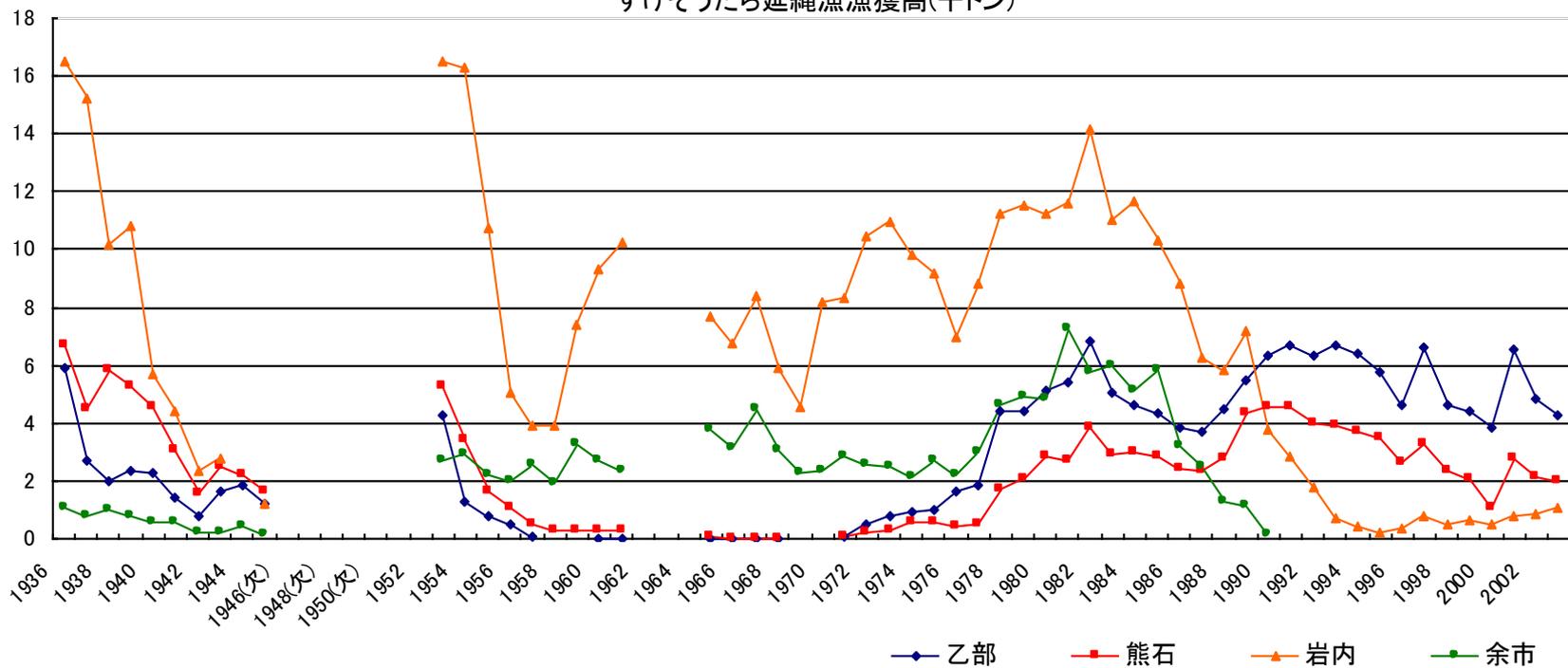


指定面積

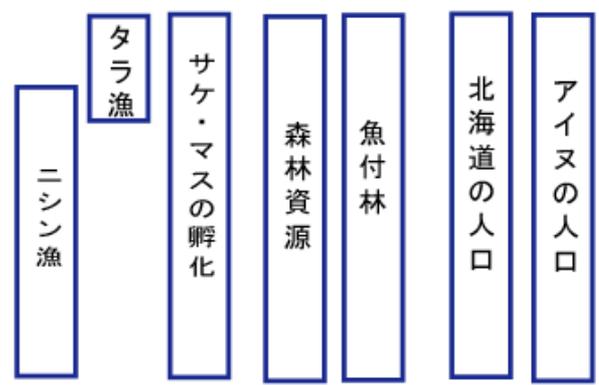
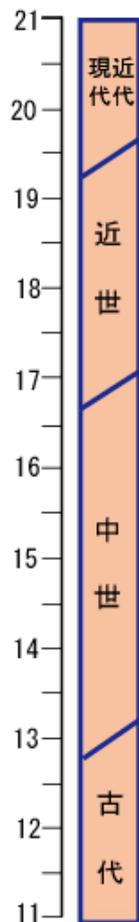
魚付林指定面積



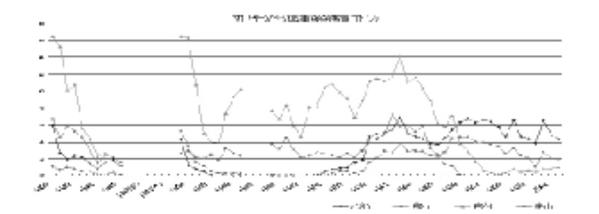
すけそうだら延縄漁獲高(千トン)



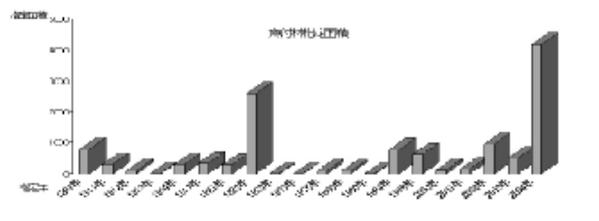
□年代(A. D.) □海の資源 □森と島の資源 □人口の推移 □資源利用史



- ・石炭から石油の利用
- ・鯨漁の終焉
- ・第一・二次拓殖計画
- ・旧度人保護法の公布
- ・化石燃料の採掘
- ・開拓移住政策
- ・屯田兵制度
- ・北海道開拓の開始
- ・クナシリメナシの戦い
- ・場所請負制度
- ・シャクシャインの蜂起
- ・ゴールドラッシュ
- ・商場知行制
- ・松前藩の交易権の独占

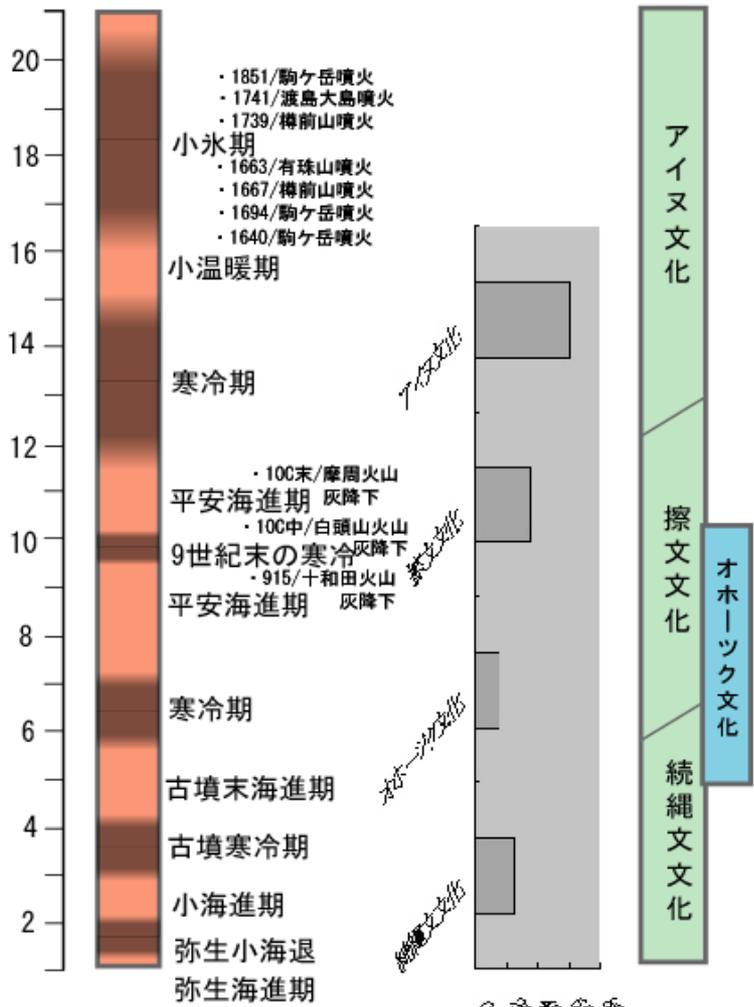


- ・コシャマインの蜂起
- ・道南に館主の出現



テーマ・スケール

□年代(A. D.) □気候変動 □遺跡の変動 □先史文化



A. D. /B. C

北海道スケール

日本列島スケール